

# 大会宣言

私たちは、豊橋市シーパレス日港福において第88回定期全国大会を開催し、労働者の働く権利の確立と生活向上をはかり、格差社会を是正し、戦争のない平和な社会をつくり、安心と共生の社会をめざし、産業別労働運動と地域運動、国際運動と連帯し、全港湾を強化し拡大する2016・17年度運動方針の補強を決定した。

安倍政権は森友学園や加計学園の問題で、説明責任から逃げ続ける一方、国民の多くが反対する「共謀罪」法を、委員会審議を打ち切る異例のやり方で強行成立させた。都議選では、稲田防衛大臣の立会演説会における選挙協力を示唆する自衛隊の政治利用など、政府与党の驕りが顕著になり、民主主義の根幹である国会での議論を数の力で封殺する国会軽視・国民無視の姿勢を続けている。

また、安倍政権は、集団的自衛権行使を容認する勝手な憲法解釈論を用い、5月3日憲法記念日には、安倍首相が憲法9条を改悪し2020年施行を目指すと表明した。

更に、安倍政権は労働法制の改悪を狙っている。秋の臨時国会では、「働き方改革」と称し、過労死ラインと判断される月80時間の時間外労働を認める残業上限規制や残業代ゼロ制度の成立を目論み、解雇の金銭解決制度の導入も視野に入れている。

また、東日本大震災から6年以上が経過した。未だ復興は道半ばにも拘らず、避難指示解除地域を拡大し、自主避難者の補償が打ち切られた。さらに、政府主導で原発再稼働に向けて強行に動いている。7月に法的に核兵器を禁止する初めての国際条約が、国連の交渉会議で賛成多数で採択されたが、日本は棄権した。いかなる理由があろうとも核兵器を正当化することは、被爆国としてあってはならないことであり、核兵器の非人道性を訴えていくことが、日本の果たすべき役割である。

多くの国民が、共謀罪をはじめとする様々な悪法の成立に反対し、説明不足極まりないと、安倍政権に「ノー」を突きつけている。労働組合をはじめ、市民団体、若者・女性たちが声を上げ、安倍政権の暴走を食い止めるため頑張っている。

このような情勢の中で私たちは、全国で働く多くの仲間とともに、暴走する安倍政権を野党共闘で打倒し、安心して暮らし続けられる平和で公平な社会の実現と、安心・安全な職場環境の実現に全力で取り組む。また、労働者、国民の要求実現と労働組合の社会的影響力の向上のため、組織拡大・組織強化に全力で取り組む。

以上、新たな決意のもとに組織の総力を挙げてたたかい抜くことを宣言する。

2017年9月7日

全日本港湾労働組合  
第88回定期全国大会

